



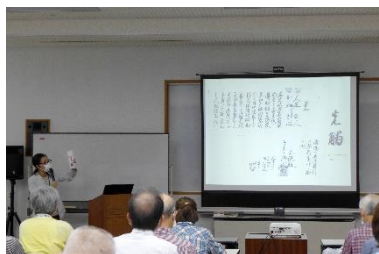
文化博物館だより

第575号

2021年10月26日

今回の博物館だよりは、企画展「明石藩の世界Ⅸ－幕末維新と人々の暮らし－」の関連イベント報告と、次回企画展「発掘された明石の歴史展－明石の古道と駅・宿－」のご案内をお届けします。

企画展「明石藩の世界Ⅸ－幕末維新と人々の暮らし－」関連イベント報告 はじめての古文書講座(10月9日)



古文書講座のようす

毎年開催している、展覧会担当学芸員による人気の古文書講座。今回も定員を超えるたくさんのご応募をいただき、当選された40名の方にご参加いただきました。はじめての方向けということで、古文書の様式にはじまり、辞書を引く手順など詳しく紹介しました。今回は、「先触(さきぶれ)」(官人または貴人が旅行する場合に、前もって街道の宿駅に人馬の継立などを準備させる通知書)を読みました。正解が見つかるまで根気強く辞書を引く…大変そうですが、皆さんと一緒に考えながら読み解くと、楽しく古文書に親しめたと思います。

講演会「幕末期の戦乱による明石藩領村々の役負担」(10月17日)

神戸大学大学院人文学研究科特命助教の加藤明恵氏をお迎えして、講演会を開催しました。幕末期の長州戦争での明石藩の陣夫役徴発について、これまでの明石市内の史料調査の成果報告として、西浦辺組(明石川右岸から加古郡までの海沿いの村々)の事例を中心にお話いただきました。幕末期の戦乱に巻き込まれていった当時の地域社会や明石の村々の様子を窺い知ることができ、大変興味深い内容でした。講演後は、お話の中で紹介された文書などの資料を実際に確認する為、展示室へと足を運ばれる参加者が多く見受けられました。



加藤氏による講演会のようす



食用にした貝の殻 江戸時代(大蔵谷)

10月30日より開幕! 企画展「発掘された明石の歴史展－明石の古道と駅・宿－」

明石は、いつの時代においても交通の要衝でした。旧石器～古墳時代には石材・土器などが他地域からもたらされました。古代には都と大宰府を結んだ山陽道が通過し、明石駅家や邑美(おうみ)駅家が設置されました。

その後、山陽道は西国街道となり多くの旅人が西へ東へと向かいました。

今回の展示は、そのような道に関連する遺跡からの出土品や、周辺の文化遺産を取り上げます。



須恵器 奈良時代(古代山陽道 福里地点)



播磨国府系瓦 奈良時代(左: 太寺遺跡・右: 天文町遺跡)



古代山陽道跡福里地点

企画展「発掘された明石の歴史展－明石の古道と駅・宿－」

会期: 2021年10月30日(土)～12月5日(日)

月曜休館

開館時間: 9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料: 大人200円、大高生150円、中学生以下無料

2歳の方からマスクの着用、検温、入館者記録票のご記入をお願いします。

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい

来て、見て、発見!

ぶんぱくGO!!